

平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 三重県の調査結果について（概要）

I 調査の概要について（報告書 P.1）

文部科学省は、原則として小学校5年生、中学校2年生の全児童生徒を対象として本調査を行い、本県の実施状況は以下のとおりであった。

校種（全学校数）	対象学校数	対象児童生徒数
小学校（379校）	376校（99.5%）	16,492人
中学校（160校）	159校（99.4%）	16,155人

※全学校数：小・中学校数ともに特別支援学校1校含む

※対象学校数：該当学年児童生徒数が0人等で実施できない学校を除いた学校数

II 調査結果（全国と三重県）について（報告書 P.4～P.39）

1 実技に関する調査の結果（報告書 P.4～P.16）

【小学校5年生の平均値】

調査種目	男子			女子		
	H26年度	H26年度	H25年度	H26年度	H26年度	H25年度
	三重県	全国	三重県	三重県	全国	三重県
握力 (kg)	↑ 16.51	16.55	16.49	↓ 16.01	16.09	16.04
上体起こし (回)	↓ 18.22	19.56	18.35	↑ 16.96	18.26	16.88
長座体前屈 (cm)	↑ 33.21	32.87	32.59	↑ 37.65	37.21	36.58
反復横とび (点)	↑ 41.75	41.61	41.28	↑ 39.39	39.36	38.76
20mシャトルラン(回)	↑ 50.02	51.67	49.56	↑ 37.63	40.29	36.96
50m走 (秒)	↑ 9.43	9.38	9.44	↓ 9.73	9.64	9.72
立ち幅とび (cm)	↓ 149.68	151.70	150.44	↓ 142.50	144.76	142.88
ソフトボール投げ(m)	↓ 22.69	22.90	23.24	↓ 14.18	13.90	14.36
体力合計点※ (点)	↑ 53.09	53.91	52.98	↑ 53.96	55.01	53.65

 : 全国平均を上回る
 ↑ : 平成25年度三重県平均を上回る
 ↓ : 平成25年度三重県平均を下回る

※体力合計点：各調査種目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計得点

全国の状況と比較すると、体力合計点は男女ともに全国平均を下回っている。種目別に見ると、男女の長座体前屈、反復横とび、女子のソフトボール投げが全国平均を上回り、他の種目は全国平均を下回る結果であった。

昨年度（平成25年度）の三重県の状況と比較すると、体力合計点は男女ともに昨年度の結果を上回り、過去最高値を示した。種目別に見ると、男女の長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、及び男子の握力、50m走、女子の上体起こしが昨年度の結果を上回った。

【中学校2年生の平均値】

調査種目	男子			女子		
	H26度	H26度	H25度	H26度	H26度	H25度
	三重県	全国	三重県	三重県	全国	三重県
握力 (kg)	↓ 28.60	29.00	28.95	↓ 23.56	23.70	23.58
上体起こし (回)	↑ 26.66	27.45	26.62	↑ 22.17	23.07	22.00
長座体前屈 (cm)	↓ 42.70	42.92	43.03	↓ 44.71	45.23	44.85
反復横とび (点)	↑ 51.53	51.31	50.87	↑ 45.72	45.63	45.28
持久走 (秒)	↑ 398.06	392.89	399.69	↑ 292.44	290.64	296.61
20mシャトルラン(回)	↑ 84.33	85.29	82.82	↑ 56.40	57.77	56.27
50m走 (秒)	↑ 8.06	8.03	8.08	↓ 8.93	8.87	8.92
立ち幅とび (cm)	↑ 190.18	193.43	190.09	↑ 164.23	166.53	163.49
ハンドボール投げ(m)	↓ 20.73	20.86	20.85	↓ 13.19	12.88	13.26
体力合計点※ (点)	↑ 40.95	41.74	40.70	↑ 48.00	48.66	47.77

■ : 全国平均を上回る ↑ : 平成25年度三重県平均を上回る ↓ : 平成25年度三重県平均を下回る

※体力合計点：各調査種目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計得点

全国の状況と比較すると、体力合計点は、男女ともわずかに全国平均を下回った。種目別に見ると、男女の反復横とび、女子のハンドボール投げが全国平均を上回り、他の種目は全国平均を下回る結果となった。

昨年度（平成25年度）の三重県の状況と比較すると、体力合計点は男女ともに昨年度の結果を上回った。種目別に見ると、男女の握力、長座体前屈、ハンドボール投げ及び女子の50m走を除き、多くの種目で昨年度の結果を上回った。

【平成20年度以降の推移】

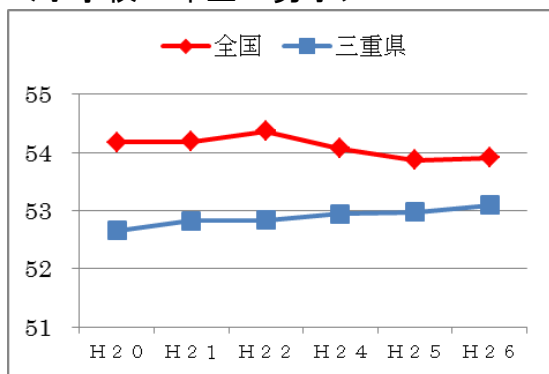
	小学校5年生				中学校2年生			
	男子		女子		男子		女子	
	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国
平成20年度	52.66	54.18	52.95	54.84	40.33	41.50	47.63	48.38
平成21年度	52.83	54.19	52.80	54.59	40.45	41.36	47.12	47.94
平成22年度	52.84	54.36	53.42	54.89	41.08	41.71	47.69	48.14
平成23年度	東日本大震災の影響等により、調査の実施が見送られた							
平成24年度	52.95	54.07	53.29	54.85	42.09	42.32	48.84	48.72
平成25年度	52.98	53.87	53.65	54.70	40.70	41.78	47.77	48.42
平成26年度	53.09	53.91	53.96	55.01	40.95	41.74	48.00	48.66

これまでの調査結果の推移では、小学校5年生の体力合計点は、男女ともにわずかな上昇傾向が見られ、本年度の体力合計点は過去最高値を示しました。本調査が始まった平成20年度と比較すると、男子で0.43ポイント、女子で1.01ポイント、それぞれ体力合計点が向上しています。

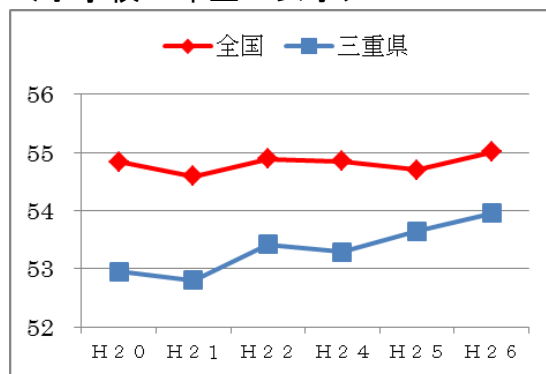
また中学校2年生の体力合計点は、最高値を示した平成24年度には及ばなかったものの、昨年度の結果を上回りました。調査が始まった平成20年度と比較すると、男子で0.62ポイント、女子で0.37ポイント、それぞれ体力合計点が向上しています。

全国の状況と比較すると、小学校5年生の体力合計点は、男女ともに、依然として全国平均を下回っているものの、その差は少しずつ小さくなっています。中学校2年生の体力合計点も、男女ともに全国平均を下回っているものの、その差は1ポイントを下回っています。

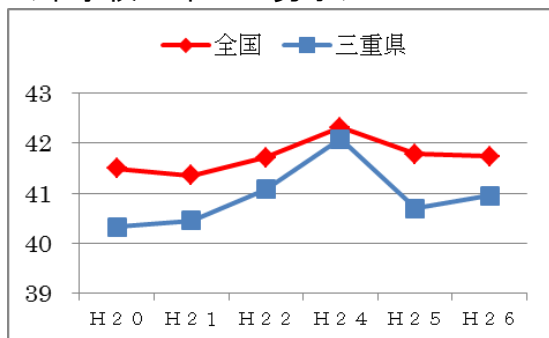
＜小学校5年生 男子＞



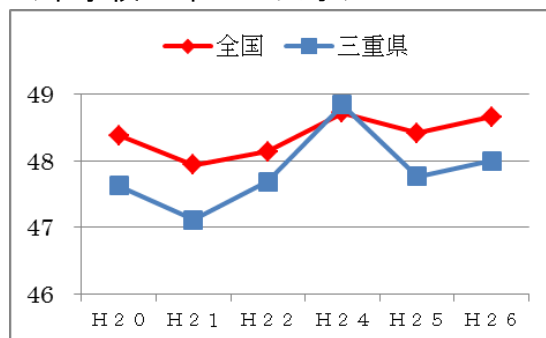
＜小学校5年生 女子＞



＜中学校2年生 男子＞



＜中学校2年生 女子＞

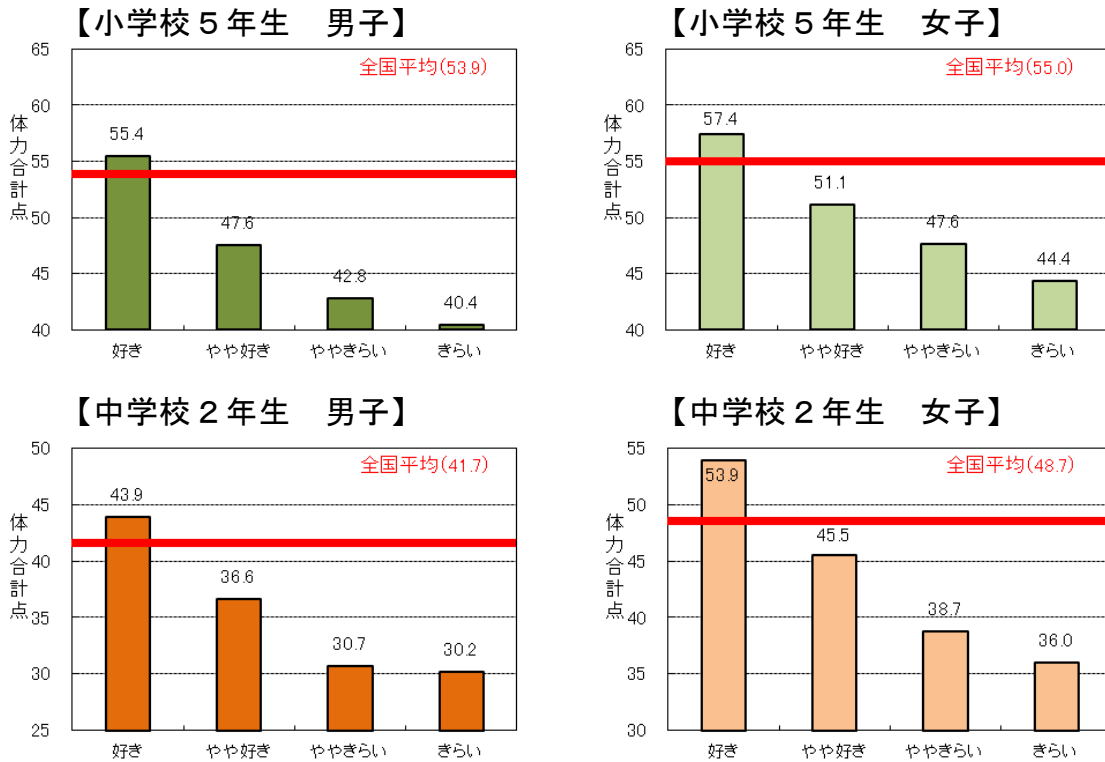


3 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の結果（報告書 P. 20～P. 39）

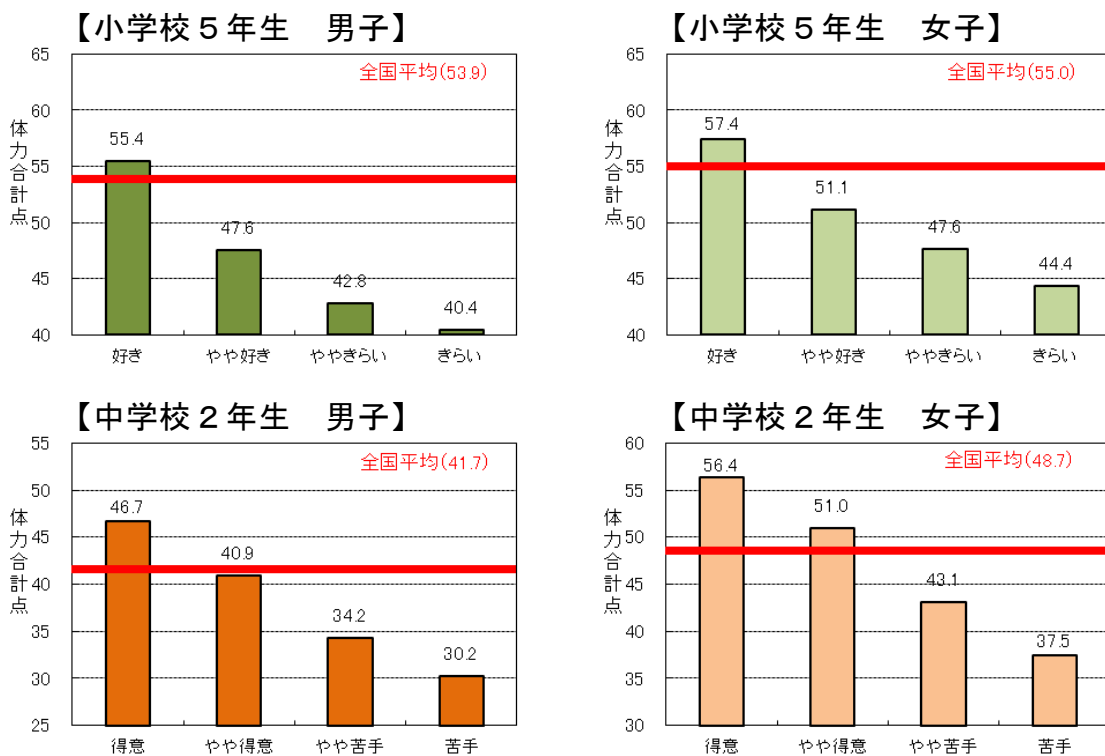
（1）運動やスポーツに対する意識の状況（P. 20、21）

校種や男女の別にかかわらず、運動やスポーツをすることが「好き」「得意」の集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向がみられた。

<運動やスポーツをすることは好きですか>



<運動やスポーツをすることは得意ですか>



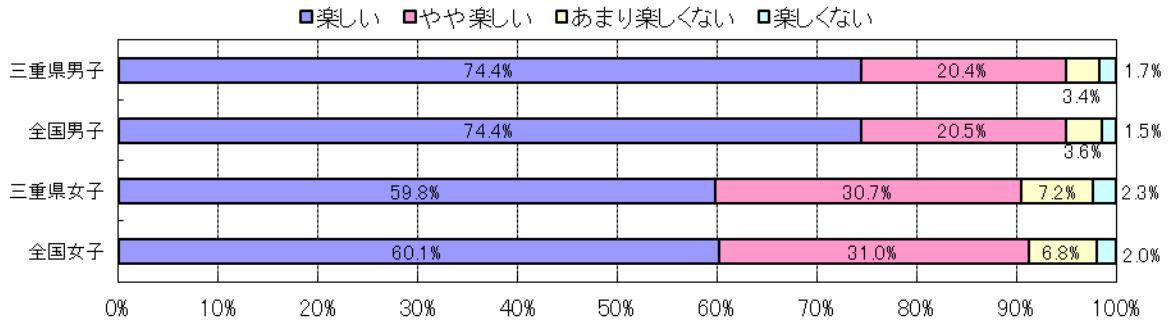
(2) 体育・保健体育の授業に対する意識の状況 (P. 26~P. 30)

① 体育・保健体育の授業に対する意識について (P. 26)

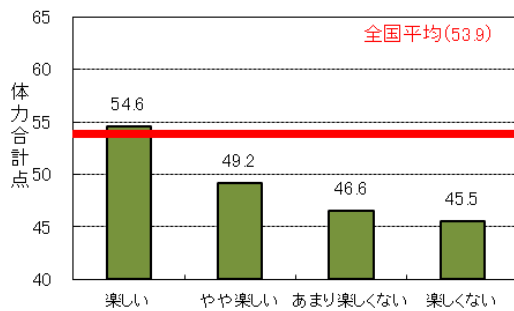
校種や男女の別にかかわらず、体育・保健体育の授業が「楽しい」と答えた集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向がみられた。

<体育の授業は楽しいですか>

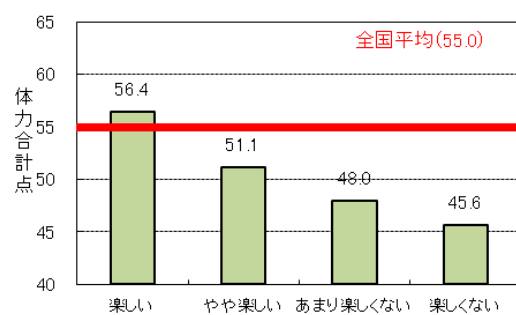
【小学校5年生】



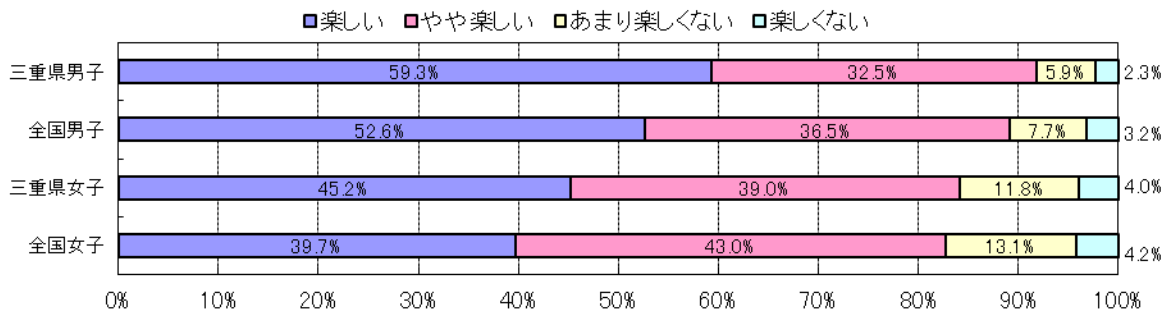
【小学校5年生 男子】



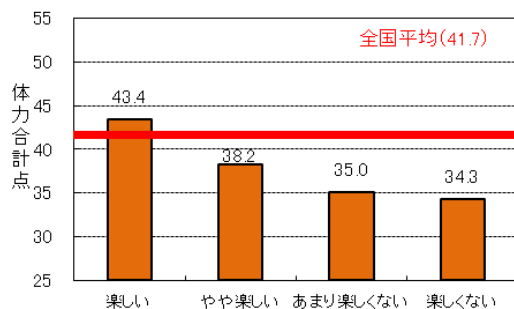
【小学校5年生 女子】



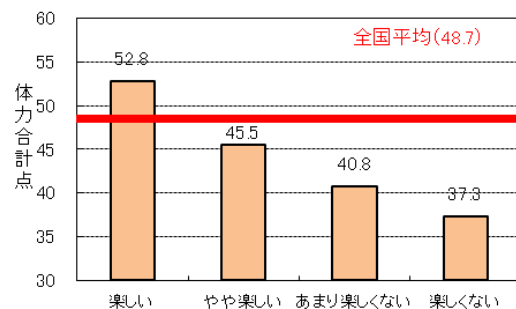
【中学校2年生】



【中学校2年生 男子】



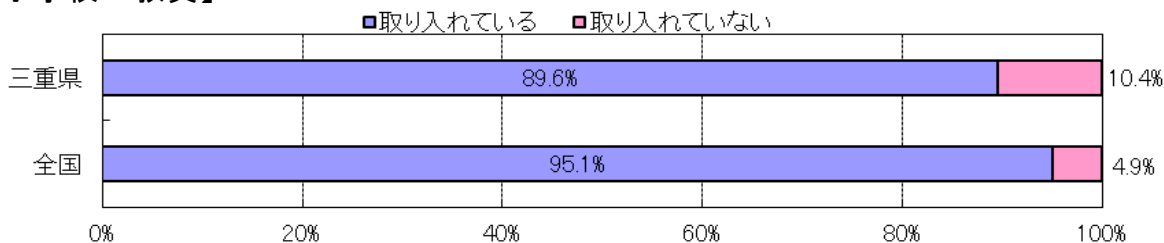
【中学校2年生 女子】



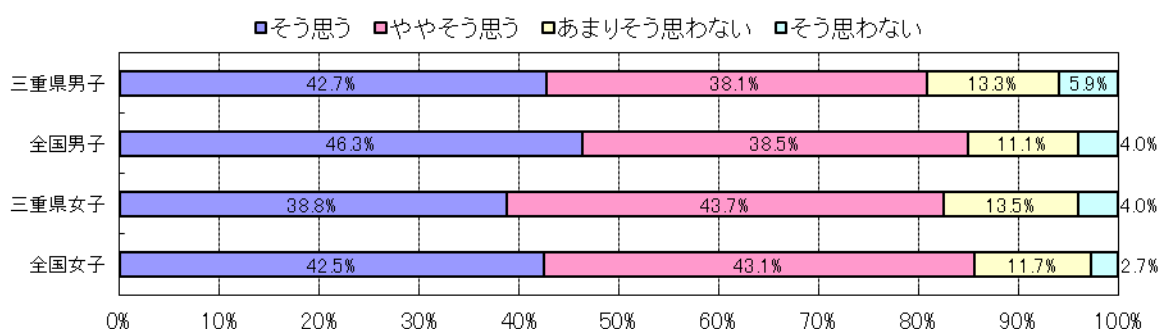
② 体育・保健体育の授業の目標について（教員 P. 37、児童生徒 P. 29）

体育・保健体育の授業の冒頭に、その授業の目標を児童生徒に計画的に示す活動を「取り入れている」と回答したのは、校種を問わず、高かったが、児童生徒がそう感じている割合は、教員よりも下回っていた。

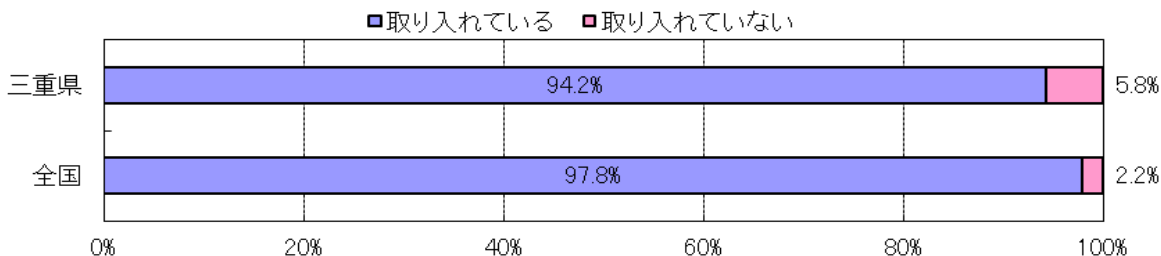
【小学校 教員】



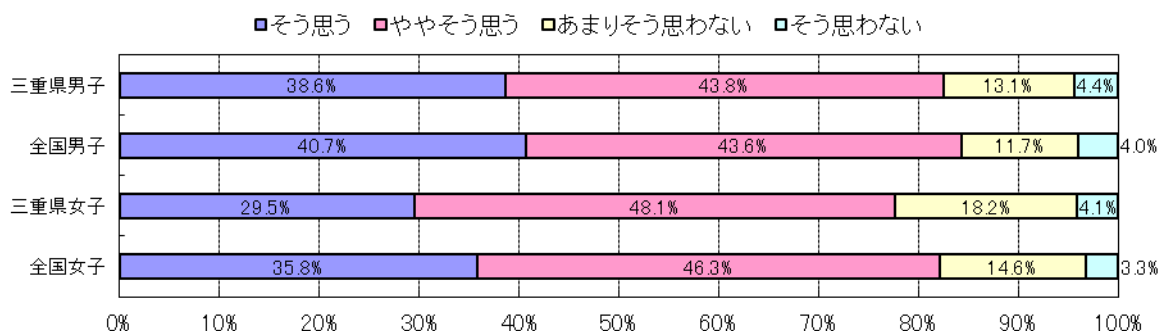
【小学校 5年生】



【中学校 教員】



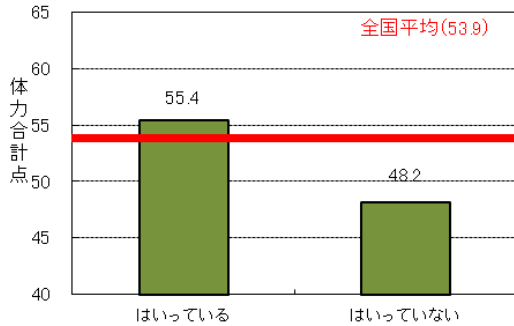
【中学校 2年生】



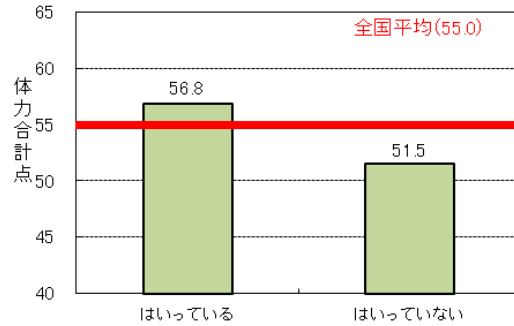
(3) 部活動等への所属状況と体力合計点 (小学生 P. 30、中学生 P. 31)

校種や男女の別にかかわらず、学校の部活動や地域のスポーツクラブ等に所属している児童生徒は、体力の合計点が高い傾向がみられた。

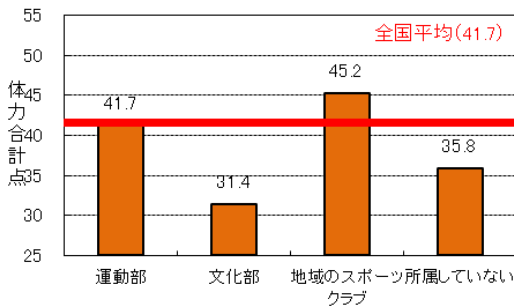
【小学校5年生 男子】



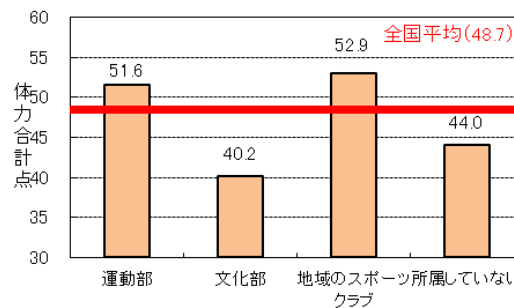
【小学校5年生 女子】



【中学校2年生 男子】



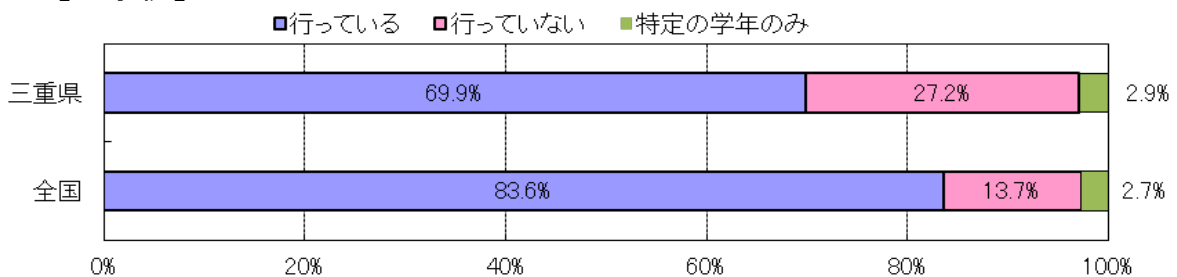
【中学校2年生 女子】



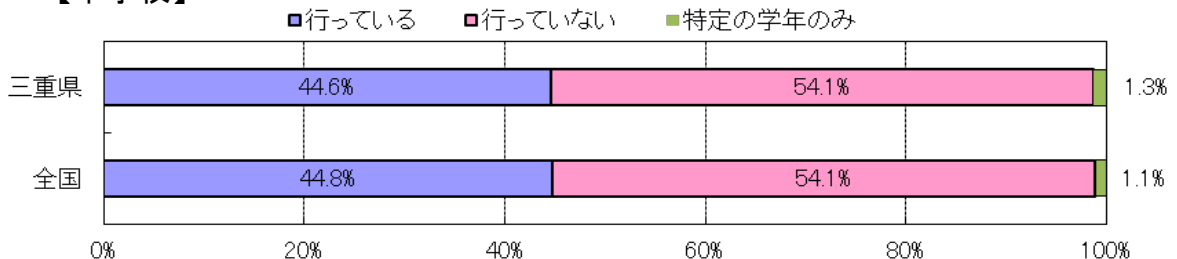
(4) 体育・保健体育の授業以外での運動時間確保の取組 (P. 34)

本県では、全国に比較して体育・保健体育の授業以外に運動時間を確保する取組を行っている割合が低かった。

【小学校】



【中学校】

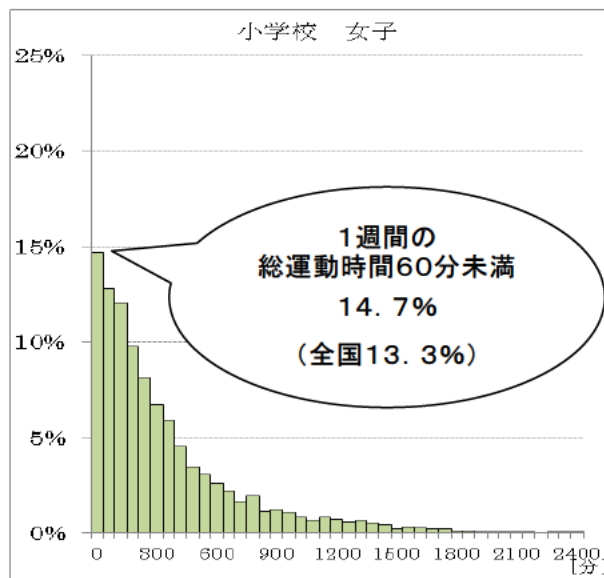
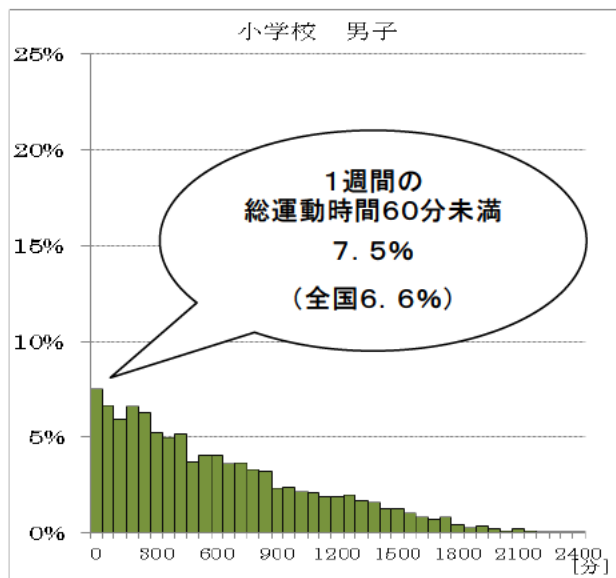


Ⅲ 調査結果の特徴について（報告書 P. 40～P. 53）

1 児童生徒の運動習慣と体力（報告書 P. 40. 41）

【小学校 5 年生】

1 週間の総運動時間の分布では、男子で 7.5%、女子で 14.7%の児童が 1 週間の総運動時間が 60 分未満であった。女子では、およそ 7 人に 1 人がほとんど運動をしない状況である。



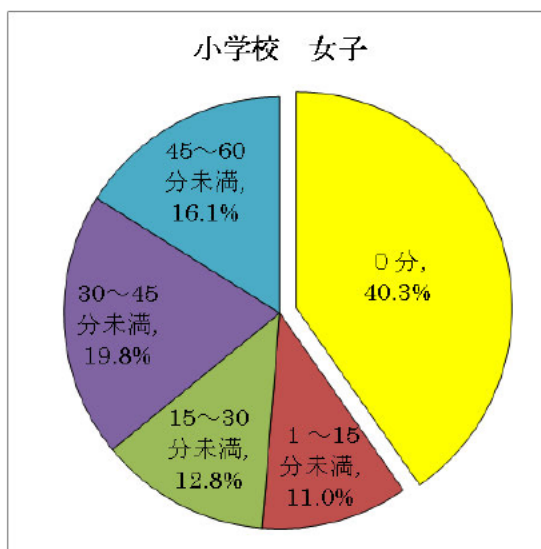
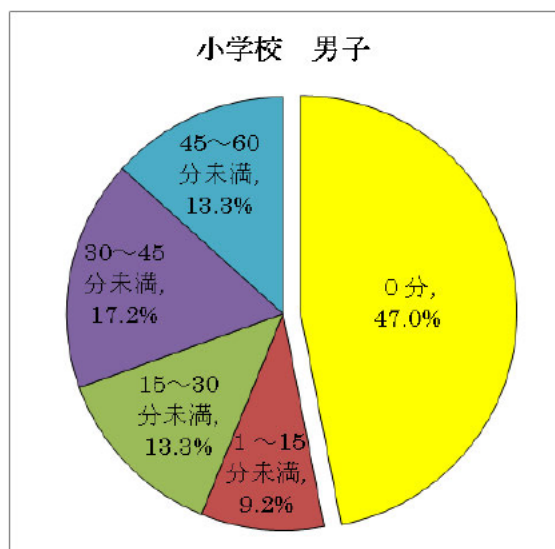
◇参考◇

運動時間算出の根拠となった質問の表記を、平成 26 年度より変更している。

平成 25 年度まで：ふだんの 1 週間について聞きます。学校、学校外で 1 日の運動やスポーツをしている時間を合計すると、おおよそどのくらいしていますか。

平成 26 年度から：ふだんの 1 週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを、合計で 1 日おおよそ何分くらいしていますか。右のそれぞれの曜日の欄に記入してください。

1 週間の総運動時間が 60 分未満の児童の内訳をみると、総運動時間が 0 分なのが、男子では 47.0%、女子では 40.3%であった。

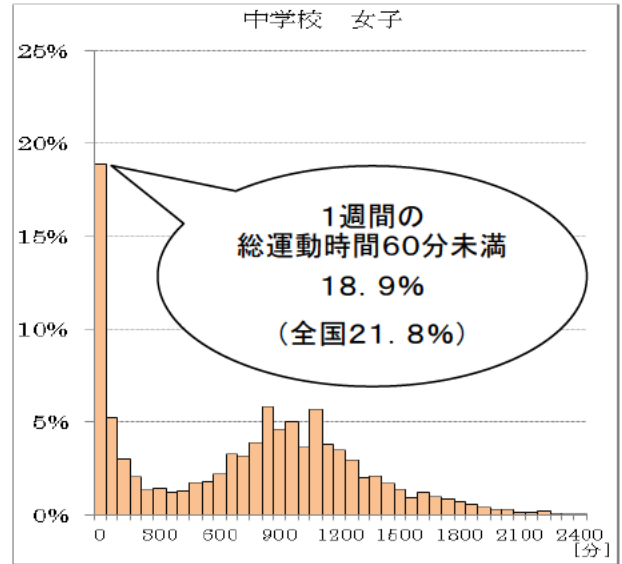
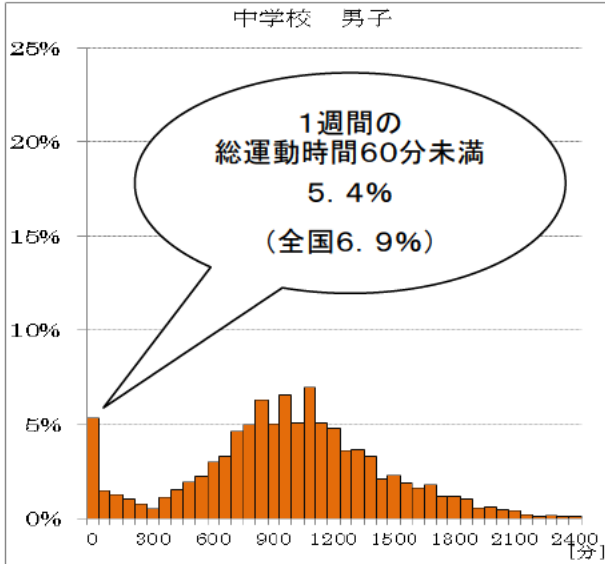


【中学校2年生】

中学校では、運動する生徒としない生徒の二極化がみられた。

男子で5.4%、女子で18.9%の生徒が1週間の総運動時間が60分未満であった。

女子では、およそ5人に1人がほとんど運動をしない状況である。



◇参考◇

運動時間算出の根拠となった質問の表記を、平成26年度より変更している。

平成25年度まで：ふだんの1週間について聞きます。学校、学校外で1日の運動やスポーツをしている時間を合計すると、おおよそどのくらいしていますか。

平成26年度から：ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを、合計で1日おおよそ何分くらいしていますか。右のそれぞれの曜日の欄に記入してください。

1週間の総運動時間が60分未満の生徒の内訳をみると、総運動時間が0分なのが、男子では73.6%、女子では68.9%であった。

